



一人ひとりの夢・思いを大切に

しなふくニュース

編集人 市原 勝祐 発行人 市原 勝祐
発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮 5-1-1
電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org



目次

(一) らうんじ

(二) 基本方針

(三) 介護保険改正の概要

(四) 障害者記念のつどい出演

(五) ボランティア紹介 八潮在宅サービスセンター
しなふくの食事「彩・楽・健」

中延特別養護老人ホーム

(六) 豆知識 花粉症

お知らせ 楽しいバザー五月祭りのお知らせ 他

らうんじ

車や自転車です。街中を回る機会が多くあります。以前に比べて最近の車は静かに走るため、近づいても歩行者に、気付いてもらえません。徐行運転しているとき、まちの皆さんの親切に出合うことがあります。行き交う人達が声を掛け合ってくれるのです。

子供たちは、杖をついて歩いている高齢者の手を引いて道路脇に待避してくれ、話に夢中で車に気付いていない小・中学生には、大人が声を掛けてくれます。たくさんの人たちの気配りで安全にまちが守られていると思えました。

まちを守ると言えば、地域の防災訓練に参加した時のことです。町内会の大人たちに交ざり、中学生がミニポンプを使った消火訓練を行っていました。大人顔負けの動きで見事でした。訓練後「自分たちのまちは、自分で守る」と誇らしげに語っていたのが印象に残っています。一緒に参加していたご年配の方に、「もう自分は動けないから後は頼むよ」と言われ、「僕が助けてあげるから安心してね」と。明るい日本の未来を感じました。最近の若者は！立派に成長しています。

中延在宅サービスセンター 所長 小山正子

社会福祉法人 品川総合福祉センター

平成二十七年

基本方針・運営方針

地域とともに、明るく元気な、法人運営を進めます。

経営基本方針

平成二十七年でも社会福祉法人品川総合福祉センターは法人理念に基づき「地域における福祉の発展・充実」を使命とし、安定的・継続的・発展的経営に努めるとともに、多様な福祉課題に柔軟かつ主

体的に解決に向け取り組みます。

重点課題

○ 当年度は介護保険法の制度改正、品川区障害福祉計画の施行、雇用情勢など法人を取り巻く動向・環境等により、特に次の点に重心を置き、経営課題として解決を目指していきます。

法人経営

○ 事業運営

介護保険法の制度改正に対応し、各事業とも、円滑に適切な事業運営へ推移させます。

○ 人材確保対策の強化

優良人材の採用に向け、福祉、介護関連教育機関との連携を強化します。また実習生対応、採用活動を見直し、介



障害者スポーツ大会出場メダルをとった、かもめ園梶田さん

護・福祉人材採用難の状況に対応します。

○ 人材育成・職員研修

平成二十六年、研修委員会により研修計画を見直し、次代を担う人材育成をめざし、当年度から試行します。

○ サービスマネジメント

利用者の選択と自己決定を尊重し、個人の尊厳に配慮した良質かつ安心・安全なサ-



八潮地区合同防災訓練 八潮学園生と

○ ビス提供に努めます。
○ 社会貢献事業
施設機能の地域開放事業として認知症カフェ・サロンを継続し、その他必要な社会貢献事業・活動の開発を検討します。

○ 防災
防災設備点検・防災訓練及びBCP（事業継続計画）を繰り返し実施、運用の適正化を図り、災害に備えます。その他経営全般に対しバランスの良い運営に向け力を尽くしてまいります。



園芸サークルで丹精こめた大根をおしんこに

介護保険法改正のポイント

平成二十七年度は、医療・介護一体改革に向けた制度改革の第一歩として、「医療から介護へ」「施設から在宅へ」の方向を踏まえた改革の年です。また、平成三十七年を目標年度とした「地域包括ケアシステム」の完成に向けた第一歩という位置づけでもあります。これは、団塊の世代が七十五歳以上となる平成三十七年を目途に、重度の要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを、人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制の構築を目指すものです。具体的には、概ね三十分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏域（中学校区単位）を想定しています。



その中で制度改革のポイントには三点です。

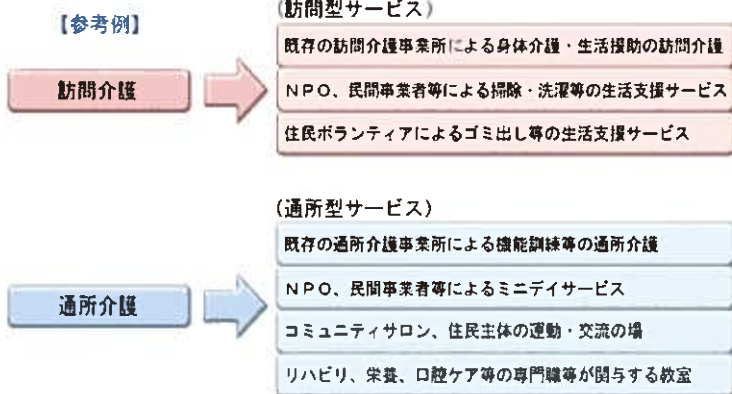
① 要支援1・2の対象者について、その57%が利用している訪問介護と通所介護を予防給付から外し、平成二十九年年度末までに新しい総合事業に移行していきます。これにより多様なサービスが提供され、利用者の選択の幅が広がることとなります。

② 通所介護の改革、特に定員一〇人以下の小規模型については、地域密着型サービスへ移行します。現在の通所介護は、長時間型が主流となっていますが、これらを機能訓練対応、認知症対応、療養対応の通所介護へ機能を分化していきます。

③ 特別養護老人ホームの入所対象者を原則要介護3以上に限定し、在宅での生活が困難な中重度の要介護者を支える施設として重点化します。しかし、やむを得ない事情により特別養護老人ホーム以外での生活が著しく困難であると認められる場合には、特例的に要介護1・2でも入所することができず。また在宅生活困難者の居場所の確保（例えば認知症であればグループホームや、施設ではない高齢者の住まい等）も進めます。



以上三点です。制度改革は他にも低所得者の保険料軽減を拡充し、所得や資産のある人の利用料負担の引き上げなども予定されています。今号が発行される時には制度改革の内容や介護報酬等が確定していません。品川総合福祉センターもその動向を見据えて、対象となる利用者に適切な支援をしてまいります。



あえる「レインボーハーモニー」初舞台

昨年十二月七日に開催された「障害者週間記念のつどい」の第二部に、品川区障害者地域活動支援センター逢「あえる」音楽教室の仲間が、初めて舞台出演しました。区内法人の障害者施設や団体の発表の機会が設けられ、品川総合福祉センターからの出演は数年ぶりになりました。

逢「あえる」の音楽教室は今年で三年目となり、知的障害や身体障害を持つ仲間と月に一回開催しています。音楽を楽しみ、癒され、勇気や頑張る力があえる「レインボーハーモニー」



出演した。者のがら、んばりと、応援してくれた職員、関係者の皆様のおかげです。

沸いてくるような時間です。今回、「あえる」音楽教室から、法人内障害者施設に声を掛け、総勢二十二名の「レインボーハーモニー」を結成しました。本番当日、三曲を熱唱しました。

発表では、多くの方楽しんでいただきたいと、目でも楽しめる演出にも工夫しました。曲に、職員による手話の振り付けをしました。また、「アナと雪の女王」ありのままで」を歌った際には、映画で登場するキャラクターの風船（オラフ）が舞台袖から出てきました。初出演ながらも好評をいただくことができました。

しなふく

認知症を正しく理解しよう

オレンジカフェしなふく

大井笑う門きこゆ声



八潮本部、喫茶しなつべにて、昨年九月より、オレンジカフェしなふくを開店しています。



「こんな集まりがあるなんて知らなかったけど、来てみてよかった！」大井在宅サービスセンター

挽きたてのコーヒー、認知症や食事についてのミニ講座、ピアノの生演奏でもお楽しみします。お客様は、じっくりとお話をされたり、ご質問やご相談をされたり、聞き覚えのあるメロディーを口ずさんでいらつしやったりしています。

認知症の症状で悩んでいる方、ご家族、地域のみんなが繋がる場所「誰でも気軽にのしやべり&頼れるカフェ」で、皆様のご来店をお待ちしております。次回は五月十六日（土）十時から十四時半です。

で昨年おこなわれた、大井地区初の認知症カフェ参加者の感想です。認知症のことで悩んでいる方、家族、施設職員・利用者、地域住民、民生委員や役所の職員など、様々な方が集まって、困りごとを話されたり、気軽におしゃべりをされたりします。このような新しい形をコミュニティカフェと呼び、オランダなど、諸外国でも広がっています。前回も総勢六十名以上の方々が参加して下さり、大盛況でした。

八潮在宅サービスセンター



利用者と一緒に楽しむことをモットーに
岩崎さんと 佐藤さん



ボランティア紹介

八潮在宅サービスセンターでは、月曜日から土曜日までほぼ毎日、色々な方々がボランティアとして活動して下さっています。ゲームや麻雀のお相手、書道の講師やピアノの生演奏、入浴後の髪を乾かしてくれる方、一方では、日中お一人で外出が困難な方に対して昼食を届ける配食サービスをしてくれる方もいらっしゃいます。外出プログラムや八潮紅葉祭もたくさんボランティア

ティアの皆様にご協力いただいています。

岩崎さんと佐藤さんは、お茶だしやゲーム参加など、日課の補助として定期的に活動されています。自然と顔なじみの関係となり、利用者にとって「この間休んでいたみたいだけれど元気だった？」など声をかけてくださいます。時には、「お花が手に入ったから活けにきた」と言って、活動日以外にも顔を見せてくださいます。一緒に喜び、話をして、じっくり聴いて、利用者の気持ちに寄り添いながら、とても心地よい関係を築かれていますと感じます。

私たち職員も、法人の理念「地域とともに」を掲げて、ボランティアの皆様のお力を借りながら、八潮地域の一員として、また社会福祉法人の職員としての努力を重ねてまいります。

しなふくの食事

「彩・楽・健」

中延特別養護ホーム

中延特別養護老人ホームでは、利用者に食事を楽しんでいただけるよう心を込めた食事を提供しています。

食材はできるだけ地域の商店から購入し、新鮮で安心な食材の調達に心がけています。また、食事から季節感を感じていただけるように旬の食材で彩ります。

敬老会では松花堂弁当を新年会ではおせち料理を提供し、毎年一回、寿司バイキング食事会も行っています。敬老会・新年会では、普段とは一味違



鮮やかに、
目にも楽しいお寿司バイキング



新年を華やかにお迎えする、
中延特性おせち料理

う食材を使用した彩り豊かな食事です。毎年大変喜ばれます。寿司バイキング食事会では、中トロ・ウニ・いくらなど十種類以上の寿司ネタを準備し、利用者から注文をお聞きしてから、目の前で職人の方に握ってもらいます。お寿司はやはり一番の人気で、普段よりもたくさん召し上がられます。

今後も安全でおいしい食事を提供できるよう、利用者のご希望を伺い、より良い食事提供に努めてまいります。

きた！きた！花粉症

《今年も万全な対策で》

今年の春のスギ花粉は二月上旬より飛散が始まっていきます。既に花粉症で辛い日々を過ごされている方も多いのではないのでしょうか？

今回は花粉症についてのお話しです。

花粉症はアレルギー性鼻炎の一つです。四人に一人がかかるともいわれ、早い人だと十代で発症し、患者数は三十〜五十代がピークです。よく「コップの水が満タンになってこぼれたように」と花粉症を表すことがありますが、発症するまでの蓄積量にはアレルギー体質の個人差があり、生活環境などによっても変わってきます。

日本人が悩まされているスギ花粉症、実は日本特有のものでカナダや中国など海



豆知識

外にもスギは多く存在しますが、アレルギーを引き起こす花粉を飛散させる品種は日本固有のものだそうです。また、花粉症の原因として一般的にはスギが知られていますが、スギの他にもヒノキ（四月〜五月）やイネ科の植物であるカモガヤ（五月〜六月）、秋にはブタクサやヨモギなど、約六十種類もの植物があり、一年を通して花粉症に悩まされる人も少なくありません。

花粉症の症状がみられる場合には専門医に相談するなど、適切な治療を受けることが大切です。現在、医療機関でできる花粉症の治療には、内服薬や点鼻薬・点眼薬、手術などの方法があります。食事療法なども取り入れ、自分の身体に合った方法で花粉症と付き合っていきましょう。



第三十一回
楽しいバザー五月祭り

【日時】五月二十四日（日）
十時半〜十四時半

【場所】（社福）品川総合福祉センター本部

品川区八潮五―一―

ご家庭でお使いにならない新品の品物がございましたらご寄付をお願い致します。左記の施設で、随時受付致します。

《八潮法人本部・中延複合施設・心身障害者福祉会館・大井在宅サービスセンター・福祉工場しながわ・八潮南特別養護老人ホーム・八潮在宅サービスセンター・サンかもめ》

ボランティア募集！

五月祭り当日（十時〜十五時半）模擬店・バザー販売等のお手伝いを募集しています。

（お問い合わせ先）地域福祉課
03・3790・4839

「テルベ」紹介



七宝焼き・ビーズ製品など

イトーヨーカドー大井町店の一階に、福祉ショップ「テルベ」があります。

『テルベ』では、品川総合福祉センターの利用者が作成した、花ふきんや七宝焼き・キーホルダー等を販売しています。多くの方に、好評を頂き利用者の励みとなっています。

あとがき

春満開。今年も四月がやってまいりました。気持ちを入れ替え、昨年度よりもっと利用者の夢と希望を実現できるように、そしてもっと笑顔で安心して過ごせるよう支援してまいります。（大橋）

発行人

編集人

品川総合福祉センター
品川区八潮五―一―